3-856-343-**04** (1)

SONY

# マルチコントロール オーディオマスター

## 取り付けと接続

**お買上げいただきありがとうございます。**

**⚠警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取り付けと接続」および別冊の「安全のために」、取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この「取り付けと接続」および別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

**取り付けはお買上げ店に依頼する**
本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO　Mini Disc

## WX-C900MD



# ⚠警告 安全のために

### 警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**⚠警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

**⚠注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

**注意を促す記号**
火災　感電

**行為を禁止する記号**
禁止　分解禁止

**⚠警告** 火災 感電 下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

### 本機はDC12Vマイナスアース車専用です

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。

禁止




### 助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付ける

動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。

禁止

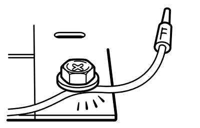


### 運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける

運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をすると、事故や感電、火災の原因となります。

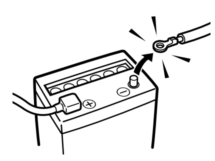
- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。

禁止



### 配線作業中は、バッテリーのマイナス端子をはずす

マイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートにより感電の原因となります。



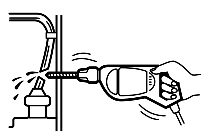
### ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない

車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

### パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。

禁止



### 雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

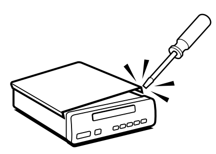
上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

### 分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

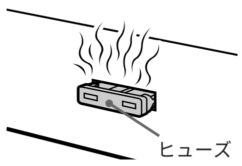
分解禁止



### 規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

禁止




**⚠注意** 下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

### 付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

### 安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。

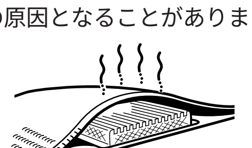
禁止



### 本機の通風口や放熱板をふさがない

通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

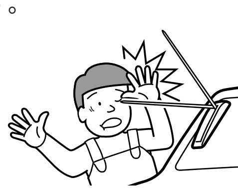
禁止



### アンテナは車体からはみ出さないよう取り付ける

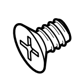
歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。

禁止



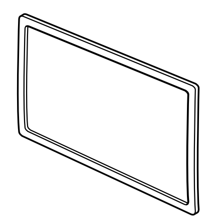
## 取り付け/接続部品（付属）

①



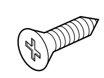
⊕K5×8
×7（予備1個含む）

②



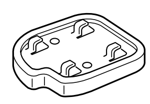
日産車用プレート
×1

③



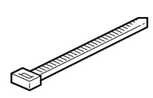
×2

④



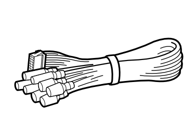
取り付け台
×1

⑤



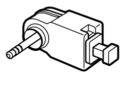
クランパー
×1

⑥



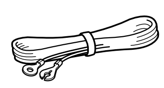
電源コード
×1

⑦



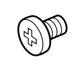
オプチカルアダプター
（光デジタル入力用）
×1

⑧



アースコード
×1

⑨



M4×4
×1

ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35

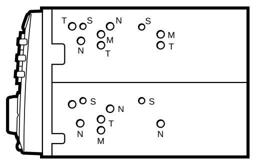
お問い合わせはお客様ご相談センターへ
●東京(03)5448-3311●名古屋(052)232-2611●大阪(06)539-5111

# 取り付け

## センターコンソールやインダッシュに取り付ける場合

トヨタ車、日産車、三菱車のほとんどは純正カーオーディオをはずして、そのあとに本機を取り付けられます。取り付け可能車はお買い上げ店にお問い合わせください。
**お車が上記以外のときは、別売りの取り付けキットが必要です。お買い上げ店にご相談ください。**

### ご注意



- 磁気を帯びた所、直射日光やヒーターの熱風などが当たる所に取り付けないでください。
- 水平から**20度以内**で取り付けてください。20度以上傾けて取り付けると、CDやMDの音飛びなどの原因となります。
- 純正ブラケットを本機に取り付けるとき、本機側面に刻印されているT（トヨタ車用）M（三菱車用）、N（日産車用）マークにブラケットの取り付けネジ穴を合わせて、付属のネジ①で取り付けてください。

**ホンダ車に取り付けるときのご注意**

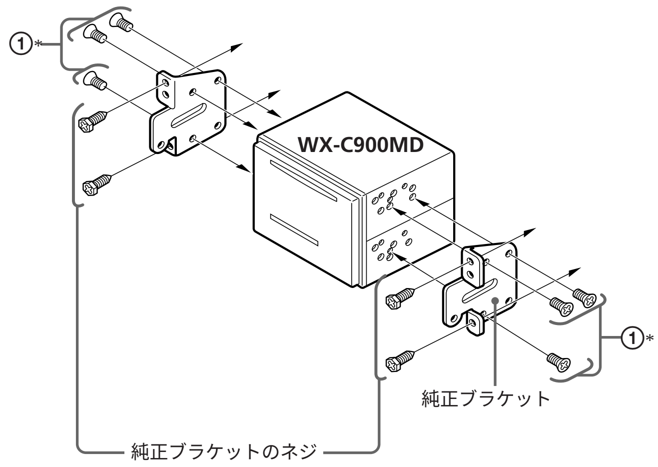
本機の左側には、冷却ファンが設置されています。そのため、**本機をホンダ車に取り付けるときには、必ずホンダ車用2DIN取り付けキットGMD-405Hまたは406Hをご使用ください。**
他社の製品を使用すると、冷却穴を塞ぐことになり故障の原因となります。

**1 純正カーオーディオを取りはずす。**
センターコンソールやインダッシュから純正オーディオを取りはずし、カーオーディオを取り付けていた純正ブラケットを利用して、本機を取り付けます。

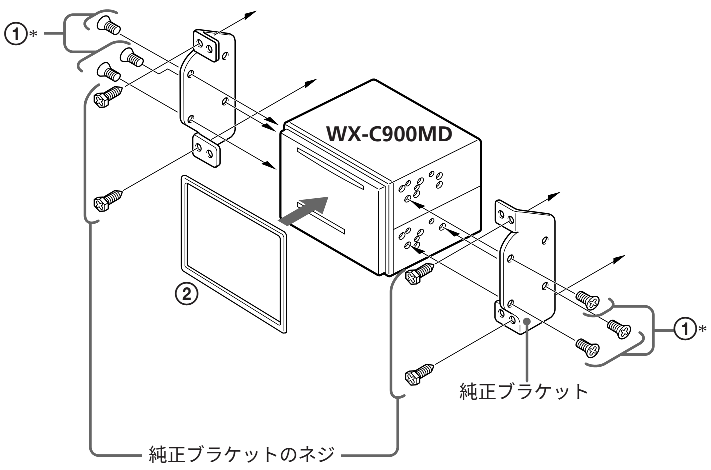
**2 本機を取り付ける。**
接続例を参照して、センターコンソールやインダッシュに取り付けてください。

**ご注意**
- **DC/DCコンバーターをマットの下やエアコンの水滴がかかる場所に取り付けないでください。**
- 本機のドア部の表示窓を押したり、ボタンに強い力を加えたりしないでください。
- 本機の上部に物をはさみ込まないでください。

**トヨタ車/三菱車の場合**
（イラストはトヨタ車の場合）




**日産車の場合**




＊**付属の皿ネジ①で取り付けてください。他のネジを使わないでください。故障の原因となります。**

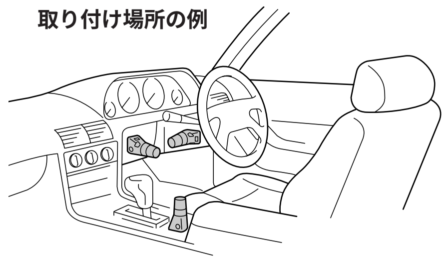
## ロータリーコマンダーの取り付け

### 取り付ける前に

ステアリングコラムカバー、ダッシュボード、センターコンソールなどの操作しやすい場所に取り付けてください。

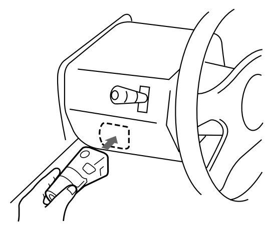
**ご注意**
- **運転の妨げにならない場所（ハンドル操作やレバー操作に影響のない場所に取り付けてください。）**
- **同乗者の安全を損なうおそれのある場所には取り付けないでください。**
- 取り付けるとき、車の配線コードなどを傷つけないよう十分注意してください。
- 直射日光や、ヒーターの熱風が当たるなど高温になる場所には取り付けないでください。

取り付け場所の例



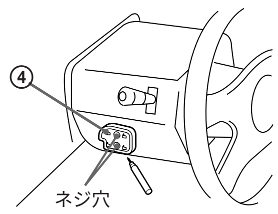
### 取り付け（例：ステアリングコラムカバーに取り付ける場合）

**1 取り付け場所を決め、取り付け場所の表面をきれいにします。**

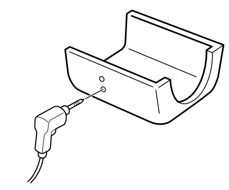


ごみや油などが表面に付着していると、両面テープの接着力が低下します。

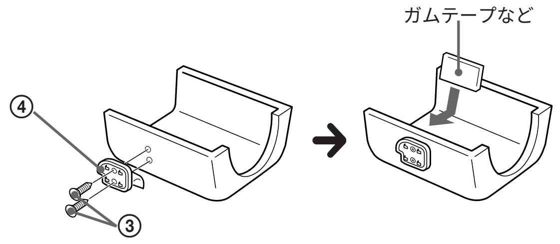
**2 取り付け場所に、ネジ穴用の印を付けます。**
印を付けるには、取り付け台④にあるネジ用の穴を使います。




**3 コラムカバーをはずし、印をした場所にø2mmのネジ穴を開けます。**

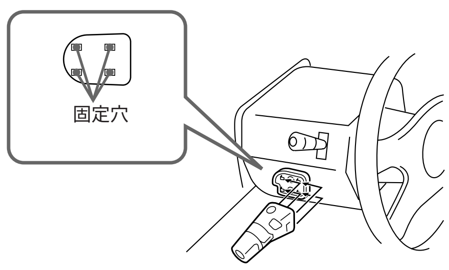


**4 取り付け場所の表面と取り付け台④の両面テープをヘアドライヤーなどで20〜30℃に温め、ネジ位置と合わせながら取り付け台を強く押し付け、接着します。そのあと、付属のネジ③で取り付けます。**




**ご注意**
ネジを締めたあと、コラムカバー裏側に飛び出したネジの先端をガムテープなどで覆い、コード類の損傷を防止してください。

**5 ステアリングコラムにコラムカバーを取り付け、コマンダー底面にある固定穴（4か所）を取り付け台のツメの部分に合わせ、コマンダーを取り付けます。**

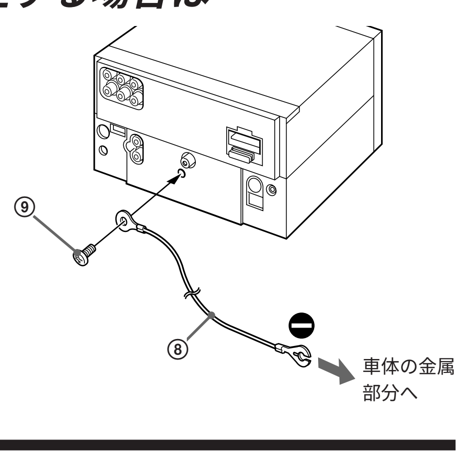



**ご注意**
ステアリングコラムにコラムカバーを取り付けるとき、取り付け台を固定しているネジとステアリングの回転部分や、操作レバーの作動部分、コード類などが接触していないことを必ず確認してください。

## オルタネーターノイズが発生する場合は

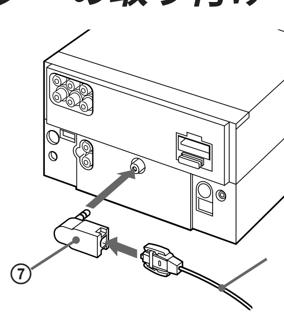
オルタネーターノイズ（エンジン回転を上げた時のヒューンという音）が発生する場合には、付属のアースコード⑧とネジ⑨でマスターユニットのシャーシを車体の金属部分にアースしてください。

マツダ車用取付キットを使用する場合は、マスターユニットのシャーシとアースコード⑧は取付キットのネジで共締めしてください。




## 光デジタルシステム用アダプターの取り付け

ソニーバス光デジタルシステム対応のCDプレーヤー／CDチェンジャーを接続するときは、付属のアダプター⑦に光ケーブル（別売り）の端子を接続してから、本機の裏面にある専用のジャックに差し込みます。



# 接続 必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

## ショート事故を防ぐために

**本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションキーをOFFにして、すべての配線をすませてから行ってください。先に電源コードを接続すると、ショートにより感電や製品の破損の原因になります。**
万一、先に電源コードを接続して配線しなければならないときは、はじめにバッテリーのマイナス端子をはずしてください。
ただし、ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けてある車では、バッテリーのマイナス端子をはずすとメモリー内容がすべて消えてしまうことがあります。

## 電源配線についてのご注意

車種によっては、車両側の配線が細い（電流容量不足）ため、エンジンアイドリング時にライトやエアコンを動作させると、正常に動作しないことがあります。この場合は、別売りの電源コードRC-39を使って電源配線することをおすすめします。

## アンテナブースターの接続

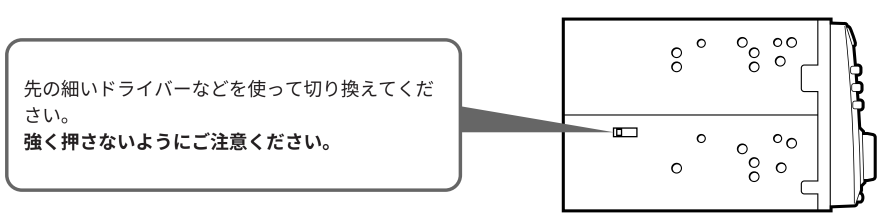
車種（一部のバーアンテナ車種を含む）によっては、アンテナブースターに電源を供給する必要があります。この場合は青色の電源コードをアンテナブースターにつなぐか、アクセサリー電源から電源を取るようにしてください。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。

## パワーアンテナをお使いになる場合

本機裏面から出ている青色の電源コードをパワーアンテナ（リレーボックス付き）に接続してお使いになると、TUNERボタンを押したときにパワーアンテナが自動的に出ます。

## 初期設定が必要なスイッチ

**アクセサリーポジションのない車でお使いになる場合**
**—パワーセレクトスイッチ**
**必ず本機側面にあるパワーセレクトスイッチをⒷの位置に合わせてください。**本機のOFFボタンを押したときに、ボタンが点灯しないようにすることができます。また、赤色の電源コードは黄色コードと同じところ（バッテリー電源）へ接続してください。




## アンテナ1本で受信する場合

通常1本のアンテナをお使いになる場合は、本機のアンテナコネクターのANTと表示されている方に車両側のアンテナを接続してください。サブコネクターに接続すると正しく受信できません。

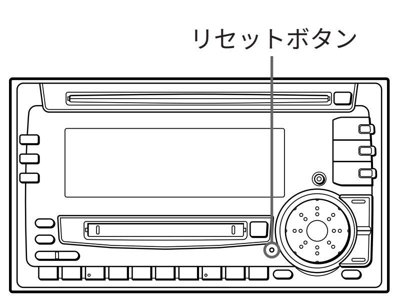
## FMをアンテナ2本（ダイバーシティシステム）で受信する場合

本機のアンテナコネクターのうち下のコネクターの方に車両側のサブアンテナを接続してください。自動的に本機のダイバーシティシステムが作動します。

**ご注意**
本機のダイバーシティアンテナは、トヨタ車のダイバーシティ対応車種の場合、そのまま接続してお使いになれます。他の車種でお使いになる場合は、別売りのアダプターが必要です。

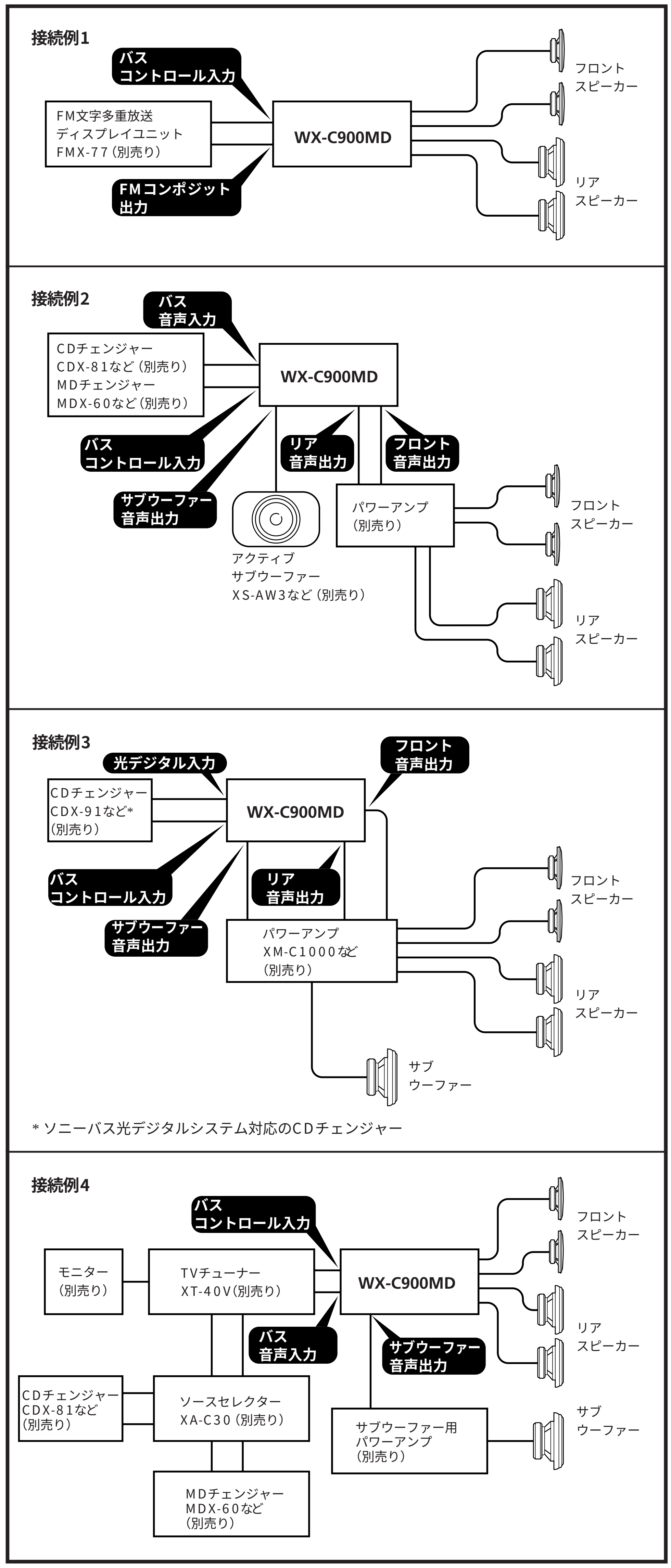
## 取り付けと接続が終わったら

- ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くことをお確かめください。
- 必ず、本体にあるリセットボタンをボールペンの先などで押してください。ただし針のようなもので強く押すと故障の原因となります。




## システム接続例

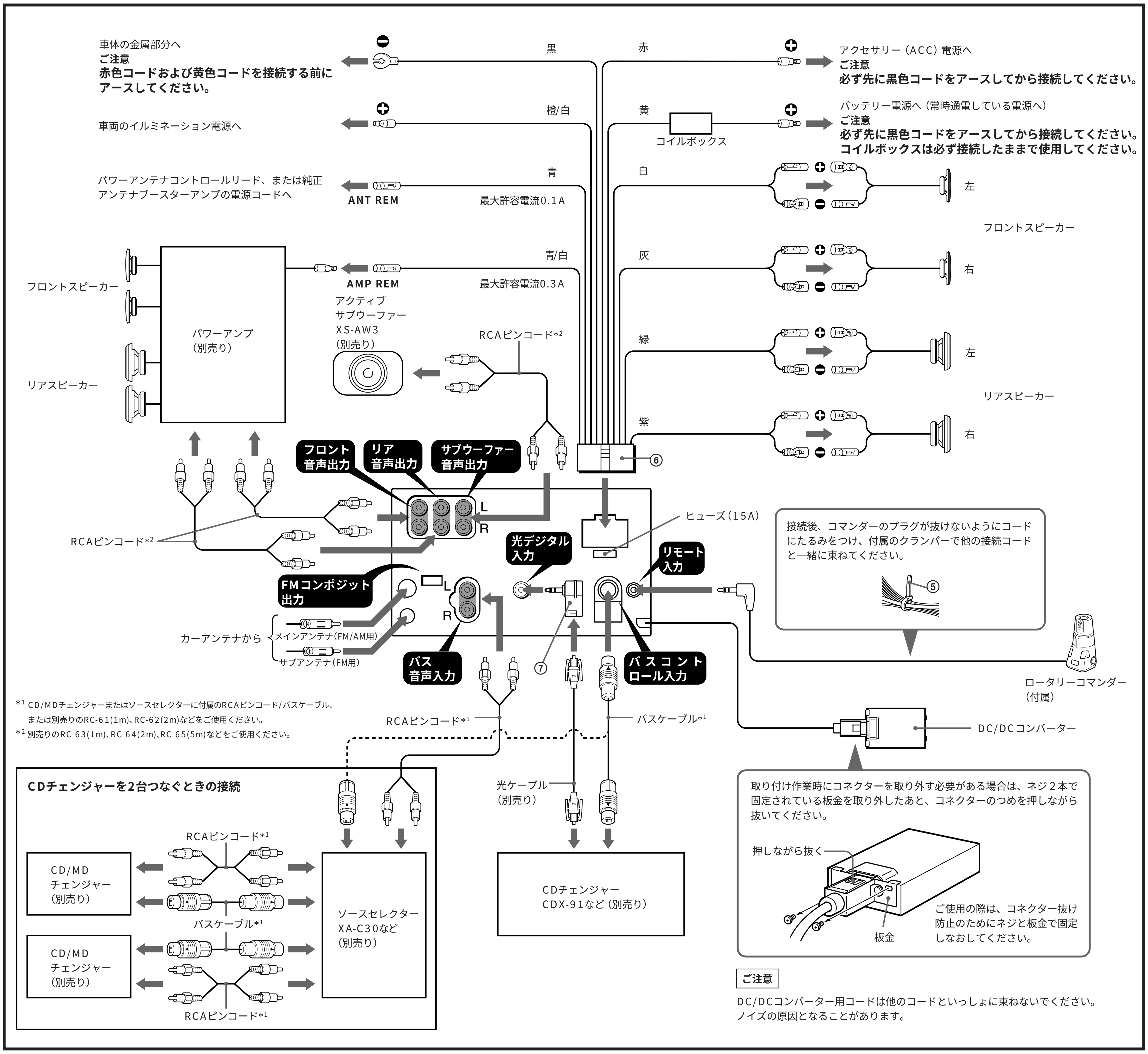
2台以上のチェンジャーを接続する場合、別売りのソースセレクターXA-C30と、別売りのバスケーブルRC-61 (1m) またはRC-62 (2m) が必要です。




## FM文字多重放送ディスプレイユニットFMX-77を接続するときの注意

FMX-77のハイダウェイユニットから本機のFMコンポジット出力へ差し込む端子の向きが、FMX-77に付属の「取り付けと接続」の説明とは異なります。
本機へは次のように接続してください。






## 電源コードの色分け

| | |
|---|---|
| **赤色コード** | **アクセサリー（ACC）電源入力コード**<br>車のキーをLOCKかOFFにすると電源供給が切れて、ACCにすると電源が入るところ（ラジオ回路など）につなぎます。 |
| **黄色コード** | **動作用電源入力コード**<br>車のキーに関係なく、常時通電しているところでヒューズの容量値以上の電源が取れるところにつなぎます。イグニッションキーをOFFにすると、メモリー保持用の電流だけが流れます。 |
| **黒色コード** | **アース用コード**<br>車体の金属部分に確実にアースしてください。 |
| **青色コード** | • **パワーアンテナのコントロール用**<br>ラジオのスイッチを入れたときに、このコードから12ボルトのコントロール用電源を供給します。くわしくはお手持ちのパワーアンテナの説明書をご覧ください。<br>• **純正アンテナブースターアンプの電源供給用**<br>**ご注意**<br>リレーボックスの付いていないパワーアンテナは使用できません。 |
| **青/白線コード** | **パワーアンプのコントロール用** |
| **橙/白コード** | **イルミネーション電源入力コード**<br>車のヘッドライト（スモールランプ）スイッチを入れたとき、本機のディスプレイが減光します。 |

## ヒューズ

本体の後ろにあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズケースに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金で代用することは大変危険です。

## スピーカー

- スピーカーを接続する前に、必ず本機の電源をOFFにしてください。
- インピーダンス4〜8Ωのスピーカーをお使いください。
- 十分な許容入力を持つスピーカーをお使いください。許容入力の小さいスピーカーを使って音量を上げると、スピーカーを破損することがあります。
- スピーカーの⊕、⊖端子を車のシャーシなどに接続しないでください。故障の原因になることがあります。
- 本機のスピーカーコードどうしをつながないでください。特に⊕端子どうし、⊖端子どうしをつなぐと、故障の原因になります。
- 既設の純正スピーカーコードを使う場合、左右のスピーカーコードの⊖側が共通になっているものは使用できません。そのまま使うと故障の原因になります。
- 本機のスピーカー出力にアクティブスピーカー（アンプ内蔵スピーカー）を接続すると、本機を破損するおそれがあります。アクティブスピーカーの使用を避け、通常のスピーカーをお使いください。